産経新聞出版発行
坂井スマート美智子著
父、坂井三郎　「大空のサムライ」が娘に残した生き方

ゼロ式戦闘機の撃墜王と表現したくなるような零戦のパイロットであった父のものの考え方とそれに基づいく家族生活と娘への人生の糧となる躾、家庭教育をどのようにしたかを娘が書いた父への感謝状とでも言える作品です。

父親が零戦のパイロットの時代から戦後も座右の銘の如く大事にしていた言葉があります。海軍五省と言うそうです。内容を見ると武士道精神に根ざす処世訓とでも言えるものです。

・至誠に悖るなかりしか
・言行に恥ずるなかりしか
・気力に缺くるなかりしか
・努力に憾みなかりしか
・無精に亘るなかりしか

ヒゲ・じーちゃん用に分かり易く言えば
・この上もなく誠実を尽くしているか
・日々の行いに恥ずかしいところはないか
・毎日気力は充実している
・努力が足らないことはないか
・何も努力せずに徒に過ごしてはいないか

このように解釈すれば、個々の人間が生活していく上で毎日自分の言動を反省する糧となる言葉であります。

この海軍五省に基づいて戦後の家族生活、対社会生活を維持していた父親は、真の民主主義者で徹底した合理主義者でした。日々の生活では如何に危機を避けるかに重点を置いた家庭生活取扱説明書とも言える規範に基づいて、父親も暮らし家族への、特に娘への教育を徹底していたようです。その教育のお陰で、揺るぎのない、ブレのない娘の考え方に結実したものと思われます。

娘がアメリカ軍人ときっこんしたことで、戦後敵兵だったアメリカ元軍人との交流もでき、アメリカで講演の機会もあったようです。

真の民主主義者であり、ものを冷徹な目で見られたためでしょう、アメリカ軍人との会話の中で、

”あなたたちは守らなくてもいいものを守ってくれていますが、多くの日本人はそれに気がついていないようです。もし皆さんが出て行ったなら、このままの日本はもうどうにもならないのですがね。”と話していたようです。

父親が如何に民主主義的で合理的なものの考え方が出来る人かと言うことは、次の言葉にも表れています。

”決まりは変えられるぞ。それが民主主義だ。”

こう書くとすぐに”憲法改正反対”とオウムのごとく決まり文句を繰り返す護憲は色液立つと想像されるが、身近な問題でその民主主義を発揮し町や企業の規則を改正した例を示している。どれもこれも危険回避を根本においた法改正を当局に求めています。

父親の思想と判断は、きわめて公平中立な立場で打ち立てられており、己の日々の生活を反省する上でも参考になります。